

# R1 いじめストップ・リーダー研修

**目的** 各学校において、生徒が主体的にいじめ防止に向けた活動を推進するために、仙台市立中学校・中等教育学校の代表生徒によるいじめ防止に向けた活動や意見交換を行い、いじめに対する考えを深め、リーダーとしての資質や自覚を高める。

**期日** 令和元年7月29日(月)～30日(火)

**会場** オーエンス泉岳自然ふれあい館(仙台市泉区福岡字岳山9-8)

**参加生徒** 仙台市立中学校の代表生徒130名

## 活動1 自己紹介・アイスブレイク

自己紹介やゲームなどを通して、心と体をリラックスさせるとともに、「楽しい」が実感できる活動を行いました。

## 活動2 『楽しい』を定義する

いじめに向かわない集団を作るために、「学校を楽しくする」という発想のもと、グループ内で「学校の中の楽しさ」について意見を出し合い、出た意見を「個人」「仲間内」「集団」に分類しました。分類した言葉を参考に、「学校のリーダーとして追求すべき『楽しさ』の定義」について各グループごとに考えました。

## 活動3 「学校を10倍楽しくしよう」

自分たちで考えた「楽しいの定義」から、実際に学校を楽しくしていくために、自分たちにはどんなことができるかをグループごとに話し合いました。話し合いの前提として、「自分たちが企画・運営する立場で考える」ということを確認しました。参加した生徒は、自分の学校をイメージし、どのような活動ができるのかを考えながら、グループ内で話し合いを進めました。

## 活動4 発表

活動3で考えた活動をグループごとに発表しました。発表するほうも、聴くほうも、「企画・運営」ということを意識しながら活動しました。発表後には「自分がやるならこうしたい」「ここをもっと詳しく教えてほしい」などの質問が出ました。逆に発表者側からも「皆さんの学校ではどうしていますか？」などの質問があり、お互いに考えを深め合うことができました。

## 活動5 振り返り

2日間の活動を振り返りました。「『楽しい』についての考えを深めることができた」「いじめをなくすために発想の転換が必要だと思った」「様々な意見に触れることができた」など、たくさんの感想が出ました。いじめの未然防止のためには、「楽しく」「安心でき」「認め合える雰囲気がある」、そのような学校の雰囲気を作るのが大切だ、ということにたくさんの参加生徒が気付くことができました。

